

平成二十三年度 前期卒業式式辞

(多部制単位制Ⅲ部)

実りの秋、ひと雨ごとに秋を感じる今日の佳き日に、Ⅲ部前期卒業式を挙行するにあたり、公私ご多用にも関わりませず、ご臨席を賜りました、ご来賓の方々には心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

本日、大阪府立桃谷高等学校多部制単位制Ⅲ部を卒業される十七名の皆さん、そして、保護者の皆様方、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

皆さんは様々な動機、様々な学習歴をもって、本校に入学されました。年齢も経験も在籍期間もさまざまです。そのような皆さんが入学されたときの思いを大切にされ、今日、卒業の日を迎えられました。その並々ならぬ努力と熱意と忍耐に深く敬意を表します。

皆さん、我々、桃谷の教職員は、そのような皆さんの熱い思いに応えることができましたか。皆さんの努力に応えることができましたか。

我々、桃谷の教職員は、皆さんと繋がることができたか。皆さんの気持ちに寄り添うことができたか。

本日、皆さんは、この桃谷高校を巣立ちます。東日本大震災の傷跡が深く残り、日本中が不安と不況の渦に巻き込まれています。桃谷高校を巣立ち、嵐の中に身を投じる皆さんが、夢を見失うことのないことを切に願っています。

常に全力で羽ばたき続けることのできる人は羽ばたき続けてください。そして、人に勇気を与えてください。羽ばたき続けることのできなかつた人を受け入れ、

篤く送り出してください。

強烈な気流の渦で羽ばたく意欲をなくしそうになった人、気にせず、休めばいいです。誰かを頼ればいいです。桃谷高校に帰ってきてください。そして、傷ついた心・体が癒されたら、勇気を持って羽ばたいてください。

羽ばたき続けることができる人もそうでない人も、今を生きています。

生き続けること、生きてゆくことで、お互いの手のぬくもりを確かめ合ってください。そして、次の時代を担う人たちが生きていける世界を残してください。

私が大切にしている永六輔のことばを紹介します。

「生きているということは

誰かに借りをつくること

生きてゆくということは

その借りを返してゆくこと」

卒業される十七名の皆さん、皆さん一人ひとりが、桃谷高校の宝物です。皆さんの今後のご活躍と、ご健康を心より祈念いたしまして式辞といたします。

平成二十三年九月三十日

大阪府立桃谷高等学校

多部制単位制Ⅲ部 准校長 浅田 建